

9月に向けて

代表取締役 三田雅憲

9月を迎えるにあたって、お盆も明け一日一日と少しずつですが秋の気配が感じられる今日この頃、皆様はいかがお過ごしですか？上半期はヒヤリは多かったのですが、労災事故に関わるようなものは幸い発生せずに無事に下半期進められるように思います。今後も、お互い声をかけ合い無事故で願います。

さて、今月は、JAL(日本航空)で42年間1度も病欠や自己都合でのフライトスケジュール変更なしに勤務し、「グレートキャプテン」と呼ばれた小林宏氏の一問一答で共に勉強しましょう。

—失敗を防ぐには「基本の徹底が大切」と強調されています。—

小林「世の中で起きた失敗を見ると難しいことができずにトラブルに陥ることは、ほとんどない。基本を怠ったことが原因となっている。効率が悪いと思うかも知れないが愚直なまでに基本を徹底することが必要と思う。」

—「人の目を気にしすぎる」というのが失敗の根源になる場合もあります。—

小林「人からの評価を気にしすぎるのは、自分の軸がしっかりしていないから。軸を持つには強い目的意識が大切だ。飛行時は性能、推力、機体の姿勢が揃って初めて目的地を目指す。人間も同じだ。本人の技術、推力(やる気)心と仕事に取り組む姿勢が大事、明確な目標、目的地があれば多少風で煽られ遠回りしても到達できる。能力の差はそこまでない。その使い方を向上するために量をこなし質をあげることだ。」

—小さな失敗を大惨事に繋げないためには—

小林「失敗の一つに勘違いや思い込みがある。必ず2つ以上の情報から判断する習慣をつける。またチェックリストは最後の砦。一人でやる仕事の時は特に重要だ。」
「チェックリストなどは、目のつくところに貼るなどの工夫を重ねている。何より、確実にやるには泥臭く実行することだ。飛行時の操縦もコンピューター化が進んだが、主体はあくまで人間だ。コンピューター化やAIが進めば進むほど人間の確認の重要性が増す。」

小林さんは、失敗を防ぐには「愚直なまでの基本の徹底」を説かれています。又、目標・目的をしっかりしていれば必ず到達できるし又、そのために量をこなし質をあげることを説いておられます。私たちは、とすれば基本を忘れ目標を見失うことも多くあると思います。社会人としての個人の目標や会社人として会社の目標をしっかりと見据えて、基本を守りながら、泥臭く実行していくことが大切であることを先人より学び9月も事故・怪我無きようによろしく願います。9月も大きな物件が続きます。又、研修やその他学ぶ機会も色々ある月です。残暑に負けずに共に頑張りましょう。